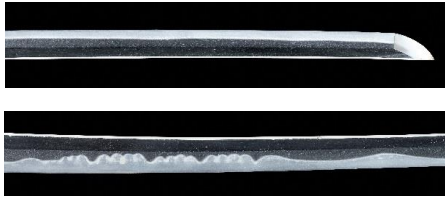

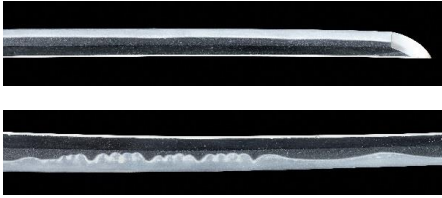


刀 銘備前国長船住人横山上野大掾藤原祐定
奉寄進於当国一宮大明神者也 寛文六丙午年正月十九日



指定区分	県指定重要文化財(工芸品)
読みかた	かたな めいびぜんこくおさふねじゅうにん よこやまこうづけのだいじょうふじわらすけ さだ とうこくいちのみやだいまようじんに おいてきしんたてまつるものなり かんぶ んろくへいごねんしょうがつじゅうくにち
所在地	岡山市北区後楽園 岡山県立博物館
指定年月日	平成31年3月8日
解説	中世末期に衰退した備前長船の刀剣生産の復興に大きな足跡を残した祐定が、寛文6年(1666)に制作した刀。岡山藩士茨木安大夫が吉備津彦神社に奉納したと伝わる。 良質な地金を使用し、末備前の作刀様式に倣って制作された祐定の最高位の作品の一つ。また、出所来歴が明確であることから、新刀期の備前長船刀として岡山県の刀剣史を語る貴重な資料。
アクセス方法	JR岡山駅から徒歩約25分／路面電車「城下」下車徒歩約10分／岡電バス「後楽園前」下車すぐ
公開状況	岡山県立博物館にて展示 [問い合わせ先]086-272-1149
設備	駐車場は岡山後楽園駐車場を利用 
備考	

きつずページ



していくぶん (指定区分)	県指定重要文化財(工芸品)
ぶんかざいめい (文化財名)	刀 銘備前国長船住人横山上野大掾藤原 祐定 奉寄進於当国一宮大明神者也 寛文六丙 午年正月十九日
よみかた	かたな めいびぜんこくおさふねじゅうにん よこやまこうづけのだいじょうふじわらすけ さだ とうこくいちのみやだいまようじんに おいてきしんたてまつるものなり かんぶ んろくへいごねんしょうがつじゅうくにち
しょざいち (所在地)	岡山市北区後樂園 岡山県立博物館
していたひ (指定した日)	平成31年3月8日
せつめい	中世末期に刀の生産量が少なくなった備 前長船でしたが、その復興に活躍した祐 定が、寛文6年(1666)に制作した刀で す。岡山藩の武士だった茨木安大夫(いば らぎやすだゆう)が、吉備津彦神社(きびつ ひこじんじゃ)に奉納したと伝わっていま す。 品質の良い地金(じがね)を使い、室町中 期以降から戦国時代末期(1500年頃か ら1590年頃)にかけて制作された、祐定 の最も良い作品の一つです。また、いつ だれが作ったのか等の歴史がわかること から、江戸時代の備前長船の刀として貴 重な資料です。